

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439, 0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

R2(2020).5.26 発行 2020_No.3

6月1日(月)
開始

バルク乳検査が始まります。

今年も生産者団体と協力して、年2回のバルク乳検査(細菌及び牛ウイルス性下痢(BVD)ウイルス)を行います。採材・検査へのご協力をお願いします。

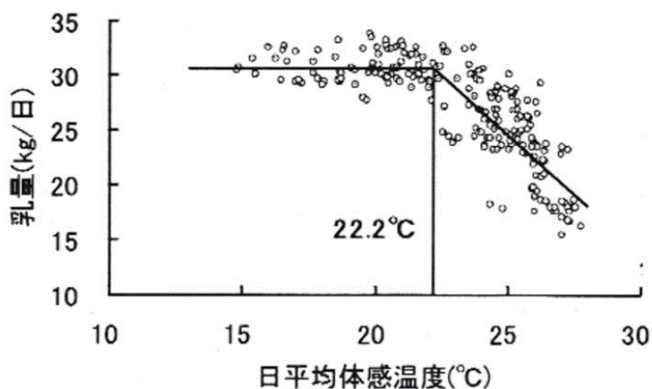
検査の結果、黄色ブドウ球菌やマイコプラズマ等が検出された場合は、個体乳検査による感染牛の特定や立会による搾乳手技の検討も行っています。

詳細は家畜保健衛生所までお問い合わせください。



暑熱対策は十分にできていますか？

乳牛は、環境温度が 25℃を超える気温が続くと生産活動(採食量、乳量、乳質、繁殖機能など)が低下するとされています。特に乳量は日平均体感温度が 22℃を超えると急激に低下すると報告されています(下図)。



体感温度 : $0.35 \times \text{乾球温度} + 0.65 \times \text{湿球温度}$

乳量の多い牛ほど乳量が低下する日平均体感温度は低い傾向

図1 : 日平均体感温度と乳量の関係
(H9、10 徳島県)

したがって・・・

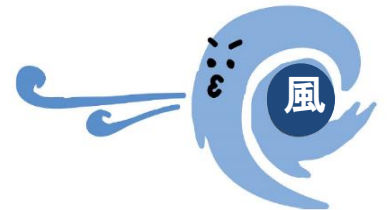
牛の体感温度を下げるのが重要です！



乳牛の暑熱ストレスチェック法

牛舎で数頭の牛を観察し、約 30 秒間、脇腹の動きで呼吸数を数えます。その数を2倍して、1分あたりの呼吸数がもし50回以上であれば、その牛群は暑熱ストレス下にあります。

すぐに換気扇又は送風扇をフル回転させましょう！



牛体に風を当てると体感温度を低下させますが、湿度を考慮に入れない場合、体感温度と送風の間には、**体感温度(°C) = 舎内温度(°C) - 6√風速(m/秒)**の関係があり、牛体に風を当てることは有効な方法です。

例えば、舎内温度が 33°Cの時、牛に風速4m/秒(時速 14.4km 自転車を走らせたときに感じる風くらい)の風を当てると、体感温度は $33^{\circ}\text{C} - 6\sqrt{4} = 22^{\circ}\text{C}$ となります。



その他暑熱対策

- 飼料** 粗飼料の給与量に注意し、ビタミン・ミネラルの給与量を増やしましょう。
- 飲水** ウォーターカップ清掃等により常に新鮮な水を飲めるようにしましょう。
- 畜舎** 防虫ネット、窓などを清掃し、風通しを良くしましょう。
- ミスト** 送風扇とともに設定温度等を再チェックし、適切に稼働するようにしましょう。

問い合わせ・連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課

Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

Working together to support one another